

留 学 報 告 書

記入日： 2018 年 10 月 13 日

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)



所属学部／研究科・学科／専攻	情報コミュニケーション学部 情報コミュニケーション学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文： カリフォルニア大学 ロサンゼルス校 現地言語： University of California Los Angeles
留学期間	2018 年 6 月～ 2018 年 9 月
留学した時の学年	4 年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	4 年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018 年 9 月 16 日
明治大学卒業予定年	2019 年 3 月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期： ○ 2 学期： ○ 3 学期： ○ (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約 3 万人
創立年	1950 年前後

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	14000ドル	140 万 円	
宿舍費	7000ドル	70 万 円	
食費	3000ドル	30 万 円	
図書費		0 円	
学用品費	100ドル	1 万 円	
教養娯楽費	2500ドル	25 万 円	
被服費	200ドル	2 万 円	
医療費		0 円	
保険費	300ドル	3 万 円	形態： 留学前に契約
渡航旅費	1400ドル	14 万 円	
雑費	1000ドル	10 万 円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	

合計		約 280 万 円	
----	--	-----------	--

渡航関連

渡航経路: 成田⇄ロサンゼルス

渡航費用

チケットの種類	直通便
往路	7 万
復路	7 万
合計	14 万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

アメリカン航空エアライン

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

アパート

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 4 人)

3)住居を探した方法:

基本的に UCLA 側が決定してくれた。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

ルームメイトとの仲はコミュニケーションをとるうえで非常に大切です。
事前に英語を学習しておきながら、心を寛大にする意識は必要だと思います。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

友人と UCLA の事務室

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

インターネットで情報を集めた。盗難の被害には遭遇しなかった。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

アパートの Wi-Fi はいつでも自動的に接続してくれるので非常に便利だった。

自動的に切れることはなかった。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

元々、10 万円ほど現金で用意してあとはクレジットカードで対処することを意識していた。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

特になし。一応、電化製品(ティファール等)はあると便利です。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

渡航前にクレジットカードで支払いました。

卒業後の進路について

1) 進路
就職 進学 <u>未定</u> その他:
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。 僕の場合は、就職活動に失敗して内定を得られない4年生の状態という珍しいケースでした。元々、就職活動に消極的な姿勢でしたが、なんとか内定を得ようと考えて強引にやっていたような気がします。しかし、留学は人によってその考え方やアイデアを取り入れることが可能です。自分だけの固定観念は捨て、このような生き方、過ごし方もあると学んだうえで、自分にとって最良の選択をするべきだと思います。ちなみに、アメリカに住んでいる方々は、彼らのやりたい夢を叶えるために仕事をし、毎日を楽しむ、無駄にしないという意識が垣間見れました。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。 まだ未定ですが、昔からの夢であった音楽の道を志したいと思います。しかし、いずれかは働いて生活していく必要があるので就職はする可能性があります。よって未定とさせていただきます。
進路に関する情報は、今後留学を考える方の情報として、本報告書の公開のみならず、国際教育センターや就職キャリア支援事務室の関連ホームページや冊子等、留学説明会において、匿名のデータとして公開することがありますので、ご了承下さい。なお、冊子やホームページに公開する前には皆さんに原稿の校正をお願いすることがありますのでご協力お願い致します。

※注意 留学報告書は、以下に「学習・研究活動についてのレポート」、「留学に関するタイムチャート」、「留学についてのレポート」の3項目があります。漏れなく記入してください。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位 17	単位 現時点で不明 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to The film making of hollywood	ハリウッド映画の制作導入
科目設置学部・研究科	Theater
履修期間	春学期
単位数	5

本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等) 授業とディスカッション	
授業時間数	1週間に 180 分が 2 回 ディスカッション 40 分が 2 回	
担当教授	Phillip Wagner	
授業内容	映画館の様なクラスルームで、映画作りの手法とそれを実践した映画を鑑賞し意見の交換を行う。実際に講師がテクニックを伝授した後、即座にどのように使われるかを見せてくれるので非常に吸収しやすい。 カメラのショット、照明、カットなどハリウッド映画によく用いられるテクニックを学ぶことができる。	
試験・課題など	中間テストで小テスト ミッドターム(中間に評価するもの)としてエッセイ ファイナルタームはロングエッセイ	
感想を自由記入	ロサンゼルスという立地でハリウッドが近いということもあり、非常に本格的だった。ここまで細かい知識があるかとイントロダクションの枠をこえたレベルがそこにはあった。 アメリカのみではなく、スペインや日本の映画なども題材として持ち入れられ多様な側面も学ぶことができる。有意義な授業だった。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	Acting fundamental	履修した授業科目名(日本語): 演劇学
科目設置学部・研究科	Theater	
履修期間	春学期	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等) 授業(実践的に演技をする)	
授業時間数	1週間に 170 分が 2 回	
担当教授	Ifany D. Jr.	
授業内容	前半は演技の基礎を実践的に舞台の上に立ち学ぶ。 先生は実際のナイジェリアからきた俳優の方なので、英語がわからなくても彼の行動を真似したりする意識を持てば、自然と授業についていける。 後半はバディーと一つの劇を演じて、クラスのメンバーとそれを連続で上映し一つの作品にするように創り上げていく。	
試験・課題など	基本的に授業に出席してファイナルタームをしっかり演じれば ○。ミッドタームも演劇のテストを行う。	
感想を自由記入	留学中に得た授業の中で最も友人ができたクラスで、個人的に一番忘れることができないクラス。そして、積極性の重要さを心から思い知った。 まさにアメリカの授業というべき、自分から意見を発して疑問点をぶつけ、自分でよりよい演技を創生することが授業の目的だと思う。 切磋琢磨して、自分を成長できる機会であった。演技を通じて学ぶことがたくさんあった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	Global studies about cultural difference	履修した授業科目名(日本語): 国際学問文化の差異
科目設置学部・研究科	Global Studies	
履修期間	秋学期	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等) ディベートを含む講義形式 週の最初の授業は講師の講義を聞いて知識を吸収 同じ週の次の授業ではそれぞれプレゼンテーションをする	
授業時間数	1週間に 130 分が 2 回	
担当教授	J.Franclin	

授業内容	国の文化や宗教、経済の差異をハリウッド映画を通して考察する 新しい側面から展開した授業。 映画を通して多文化の学習を狙う。
試験・課題など	ミッドタームはエッセイとプレゼンテーション。 ファイナルタームはロングエッセイ。
感想を自由記入	サマーセッションの授業の中で最も ハイレベルな授業であった。意味が分からない単語や熟語は 自分で調べてノートに書いてエッセイの書くネタにしていた。 講師の話では、どんな切り口で文化的差異が発生するかをヒントにしていた。講師の 英語が非常に流暢かつ難解な単語を用いていたため、講義後はよく尋ねていた。 また、様々な情報媒体から問題を提起する講義は まるで情報コミュニケーション学部の授業に似ていると心底思った。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Vocal technique	ボーカルクラス
科目設置学部・研究科	Music
履修期間	秋学期
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等) 実践的な発声練習と声の仕組みについて講義形式で学ぶ。
授業時間数	1週間に 130 分が 2 回
担当教授	Terry Richer
授業内容	声の発声の仕組みについて、講義を受けた後 その仕組みを深く理解し即座に実行して知識をつけて実践的な経験をつける。 グループごとに分かれ、アンサンブルを行うため、日々復習が必要になる。
試験・課題など	ミッドタームはアンサンブルのパフォーマンス、中間テスト ファイナルタームはシングルのパフォーマンス、最終テスト
感想を自由記入	元々、音楽活動に興味があり、自分の得意分野をさらに伸ばしたいという思いからこの授業をとることにした。 音楽に既に精通している生徒がほとんどを占めてかなりハイレベルな環境の中で、いかに負けないようにクラス外での努力の重要性を意識させられた。 アンサンブルではチームワーク、シングルでは細かい曲の抑揚のつけ方、強調するべき部分等日々の復習を参考にして、舞台の上でのファイナルパフォーマンスに臨むことができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
科目設置学部・研究科	
履修期間	
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題など	
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
科目設置学部・研究科	
履修期間	
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題など	
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
科目設置学部・研究科	
履修期間	
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題など	
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
科目設置学部・研究科	
履修期間	
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題など	
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
科目設置学部・研究科	
履修期間	
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題など	
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
科目設置学部・研究科	
履修期間	
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題など	
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
科目設置学部・研究科	
履修期間	
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題など	
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
科目設置学部・研究科	
履修期間	
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題など	
感想を自由記入	

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	英語に一切興味なし。
4月～7月	英語に一切興味なし。
8月～9月	英語に一切興味なし。
10月～12月	英語に一切興味なし。
2017年 1月～3月	英語に興味を持ち始める。 Youtube 等を視聴し、デイリーカンバーセッションレベルの英語を声に出して音読を繰り返す。当時はまだ TOEIC220 点。
4月～7月	本格的に TOEIC の学習を始める。 文法書や単語帳等のツールを用いて学習を進めるも、TOEIC450 点しか取得できず。高校生の学習方法では三日坊主になると気づき学習方法を改善することを決意。 また、イギリスに 1 週間だけ滞在し、本場の英語を体験する。 ここで、リスニングスキルの重要性を再確認。 またこの時にサマーセッションの存在を知る。
8月～9月	無料のアプリケーションでアメリカ人の友人をつくり、週に 2, 3 回テレビ通話を行った。これによって三日坊主を防ぐ、ネイティブの速さに慣れるといったメリットを得た。 さらにアルバイトを塾講師に転身し、お金を稼ぎながら英文法を再復習。
10月～12月	TOEIC760 点取得→790 点取得。 これによって出願が可能になった。 しかし、自分のミスで申し込み期間を過ぎてしまい、応募できない状態に見舞われたため一度留学をあきらめる。
2018年 1月～3月	奇跡的にサマーセッションの再募集がかけられる。 これによって出願が可能...が、GPA が足りないことに気づく。 どうしても行きたい旨をゼミナールの先生に懇願し推薦状を執筆していただいたため、出願できた。そして審査に合格。 またこの時期に就職活動を本格的に開始。
4月～7月	留学準備、ビザ関連、英語力補強を繰り返しながら、就職活動にいそむ。6 月下旬、ロサンゼルスへ出発して留学開始。 6 月下旬～8 月上旬は春学期の授業二つを受講。中間テストや期末テストにおわれた。
8月～9月	留学中。8 月上旬～9 月中旬は秋学期の授業二つを受講。 同じく中間テストや期末テストにいそむ。9 月下旬、帰国。

10月～12月	更なる英語力補強のため、 10/14 TOEIC S&W 11/18 TOEIC L&R を受ける予定。 また、進路についてもアメリカでの経験で自分の考えをもっと広い視野で考えることにする。
---------	---

留学体験記

以下の各項目についてそれぞれ 200 字以上で具体的に回答ください。

なお、このレポートは、留学体験記として、本センター発行の「留学の手引き」やホームページなどで、匿名で公開されることがあります。公開の前に、皆さんに原稿の校正をお願いすることもありますのでご協力よろしくお願ひいたします。(但し、皆さんの所属学部、留学先、留学年度、在籍年／卒業年は公開されます)

※ 文章は「です・ます」体に統一して下さい。

留学しようと決めた理由	英語の魅力に気づいた際、この能力を使って新しい環境の中で生活したいと考えるように至ったためです。語学留学では英語が目的となる留学なのに対し、正規・認定留学では現地の授業を受けられる仕組みがあったため、必ず何かを得るという確信がありました。学生にしかできない体験の 1 つとして、短期間ではありますが、その短期間で何ができるかを事前に定め、サマーセッションに参加することに決めました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	<p>以下が挙げられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語力の補強は必要だと思います。コミュニケーションをとるにせよ、友達や知り合いを円滑につくるにせよ、流暢な英語は欠かせませんでした。一度、この人英語が話せないとなると相手にされないこともしばしばあったため、少なくとも日常会話は円滑にできるくらい英語力を補強しないとかなり厳しかったです。TOEIC を定期的を受けておいて良かったと実感しましたが、特にリスニングを鍛えるべきでした。 ・留学でこれだけは守るというルールです。せっかく、多額のお金を投資してくれるので、一日一日を無駄にしない、進路のためにもこれは絶対に行う等の目標を明示化し、いつでも意識できる状態にするべきでした。 ・滞在国の事情を確認するべきでした。この地域は治安が悪い、この交通機関はよく遅延するなど、日本に比べてインフラ、生活水準は大国アメリカでも低いことが身に受けられました。これによって所持品やお金等の必要必需品が変わってくると考えます。
この留学先を選んだ理由	<p>以下が挙げられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロサンゼルスというエンターテイメント溢れる地域に滞在してみたかったからです。カリフォルニア州の中でも一際人気があるということは、それなりの理由があると思い元々興味はありました。UCLA は大学ランキングでも上位に位置する優秀な大学の一つであることから、ロサンゼルス良さと併せて選択しました。 ・就職活動の期間上の問題で、UCB に留学することは不可能でした。良い経験を得るためには優秀な大学で受講することが第一歩だと個人的に考えていたので、UCB と UCLA の二つに最初から絞っていました。 ・正規の授業を受けられるプログラムだったからです。語学留学では英語自体を目的としますが、それは日本でも可能だと自分の経験から考えていました。留学するなら、滞在大学の正規の授業を受けることで新しい経験や度胸を培いたかったことから 3 ヶ月の短期間ではありますが選択いたしました。勇気のいる選択でした。
大学・学生の雰囲気	<p>大学のキャンパスは非常に広々としており、自然や緑あふれる環境で勉強には最適だと感じました。しかし、広いがゆえに教室と教室の距離が遠く、時間をうまく管理しないと遅刻もしばしば発生する環境でもありました。また、コンビニや学生生協の数はキャンパスの広さを考慮した場合、少し少なく感じました。</p> <p>学生に関しては、兎に角優秀な生徒が多いです。他には個人的には積極的に自分から考え、発言する人、自由にやりたいことを突き詰める人等、日本の環境ではなかなか遭遇しなかったであろう方が沢山いた印象です。また、UCLA では中国人の比率が非常に多いと見受けられました。サマーセッションというプログラムの性質上でもあると思いますが、アジア人が予想の遥か何倍も上回るほどいたため、ノンネイティブの人と英語を話す機会は多かったです。</p>
寮の雰囲気	私はアパートだったので、何かイベントを催したり、定期的にあつまったりすることは基本在りませんでした。しかし、ルームメイトブラジル人 1 人、中国人 2 人の生徒と共同生活を行っていたため、彼らとの絆は深まるばかりでした。時には言い合いや仲違いも発生しましたが、「相手の考えに寛容的になる」ことを常に意識していたため、文化の差異でもあったと認識でき良質な関係を築くことができました。私のアパートは広々としていて、友人を 10 人ほど呼んでもスペースが余るくらいでした。

交友関係	<p>春学期の授業に関しては二つとも日本人が私しかいなかったもので、自分から声をかけないと何も始まらないことは常に意識していました。偶々、二つとも授業が被っている生徒がいたので彼女と友人になり、そこから友人の輪を広げていったり、Acting class のパディーと出かけたり、放課後に積極的に残って話したり等自分から行動を仕掛けました。</p> <p>秋学期に関しては、日本人の生徒さんとも知り合い、積極的に情報交換や食事を行い互いの仲を深めることができました。</p> <p>また、当然同じサマーセッションで来ている学生さんとも友人になり、サマーセッション外でも非常に多くの友人の方ができました。</p> <p>ルームメイトは上記の通り、深い絆の仲を創ることができました。</p>
困ったこと、大変だったこと	<p>主に以下が挙げられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞在した最初の週に、ビザチェックに必要な書類を用意できなかったことです。これは空港側の問題でしたが、流石に焦りました。はじめから、学生事務室に英語で対応することは私にとってタフな経験でした。E-mail も作成したり、空港側とコンタクトをとったりして、フォーマルな場面を何度も求められたことがきっかけです。しかし、無事書類はそろえることができました。 ・ラスベガスとグランドキャニオンに旅行に行く際、夜行バスを利用して行く予定でしたが、アメリカの治安の悪いバス会社を利用してしまい結果的に3万円を無駄にしまった経験がありました。これは私の不注意と情報不足が挙げられますが、安さにはそれなりの理由があることを学びました。 ・英語力が乏しかったことから、友人作りにはかなり苦労しました。 ・途中でクレジットカードの上限額を迎えてしまったことです。二枚クレジットカードを予備に用意しておいて本当に良かったです。
学習内容・勉強について	<p>日本でできる授業、本を読めばわかる授業はなるべく受講しないことを決めていました。UCLA でしかできない授業をとることが私の目的だったので、上記の4つの授業を受講しました。</p> <p>また、授業においてはエッセイを書くことが基本的に求められることから、ライティングの枠組みを一度作る→アウトラインを作る→実際に書く→スペルチェックをひたすら繰り返しました。これによって、英語で書く能力の必要性を意識させられるとともに、自然とライティングスキルに求められる能力を培うことができました。</p> <p>ボーカルや演劇の授業では、授業外の練習を積極的に行いました。そのために、講師やルームメイトに練習に付き添ってもらうために E-mail でお願いするなど自分から行動を仕掛けました。</p> <p>とにかく自分から行動しないと、授業についていけない→つまらなくなるの悪循環に陥るので、「分からなかったら聞く」を念頭に置いて授業を受けていました。</p>
課題・試験について	<p>大体、エッセイに求められる量が膨大かつすべて英語であることから、一日5~7時間は少なくとも時間を費やしました。時には寝ないで一晩中、書き続けたこともあります。さらに、盗作や著作権を遵守するため、そのことも常に念頭に置きました。途中で、講師にエッセイを評価してもらうこともありました。</p>
大学外の活動について	<ul style="list-style-type: none"> ・大学のツアーを利用して、ロサンゼルス外の町を観光しました。 またはプライベートの友人を誘って、ロサンゼルスの主要な観光スポットを周りました。 ・ミートアップというアプリを使って、UCLA に関わる人以外でも人脈を作ることにこだわりました。サッカーを行ったり、ボーリングをしたり、語学を交換するなど様々なイベントに参加しました。 ・ロサンゼルスでできた友人を大人数招待して、ホームパーティを主宰しました。
留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと、アドバイス等	<p>お金の問題、時間の問題、語学力の問題等留学に行けない言い訳は沢山出来ます。私は留学に行きたいのであれば行けば良いと思うし、それよりも上記の問題が出来ないから無理だと思えば、それくらいの気持ちなのだなんて考えて行かないのを勧めます。</p> <p>ですが、今の学生という立場で留学で出来る経験は今しかないことも事実だと思います。先延ばしにできることもあると思いますが、成長を目的とする学生という立場では、新しい環境に身を置き、苦戦し、視野を広げることはお金や時間を費やすのに最</p>

	<p>適なものだと考えています。 また、期間を言い訳にして～のことしかできなかったという方も多く見受けられますが、そもそもその期間で行くことを承諾したのは自分なので、それを言い訳にするのは不適切だと思います。</p> <p>以下の人は留学に行くことを個人的に勧めます。 ・新しい人脈を作りたい人 ・メンタルや度胸を鍛えたい人 ・自分で責任を持って行動することを厭わない人</p> <p>留学では場合にもよりますが、ほとんどの場合上記の3つを得ることができると思います。ぜひ、チャレンジしてみたいかなと思います。 自分の行動次第によっては一生忘れられないものとなりえると確信しています。</p>
--	--

上記回答内容にまつわる写真、またそれ以外でも結構ですので**写真の提供をお願いします(キャンパスの写真、本人を含めた写真2枚程度(大勢と写っている写真もちろんOKです))**。この写真は、「海外留学の手引き」や本学HP等留学関連の情報媒体に使用される場合がありますのでご了承ください。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	FORMTEXT 自主英語勉強・課題	授業	練習(ボ ーカルかア クティング)	授業	課題	観光	練習
	食料等 の買い物	授業	課題	授業	課題	観光	自主英 語勉強
午後	観光	授業	観光	授業	観光	観光	観光
	観光	授業	観光	授業	観光	観光	課題
夕刻	ジム	授業	ミーティア ップ	授業	ジム	観光	ミーティア ップ
夜	バスケ ットボール	ジム	課題	課題	友人と ご飯	観光・ 課題の復 習・練習	FORMTEXT 課題・練習

※ 授業だけではなく、課外活動、交流会、自習、その他自由時間の活用についても具体的に記入をお願いいたします。

Report of Program Activities (Study Abroad Program)

Date: year month day

(Please be aware that this report will be published on the website of Meiji University, study abroad information brochures, and etc. Your name will not be listed on the media without your permission.)

Name/Email	Name: Email: ※This column will not be published on PR resources.
School/Graduate School·Major At Meiji University	
Country of your study abroad	
Name of the host institution	
Study period	year month ~year month
Grade when you started the program	year (year at your departure)
Grade you belonged to at the host institution	year (year you have belonged to at host institution)
School you belonged to at the host institution	Haven' t belonged to specific school.
Date of return	year month day
Expected year of graduation (from Meiji University)	year month
Information of Host Institution	
School type	National Public Private Other
Academic calendar	Semester1: Semester2: Semester3: (e.g./Semester1:Beginning of April~End of July, Semester2:Middle of September~Beginning of February)
Number of students	
Year of founding	

Fees	Local Currency ()	Yen	Note
Tuition		yen	
Housing		yen	
Food		yen	
Books and Text books		yen	
School Supplies		yen	
Recreation		yen	
Clothes		yen	
Medical		yen	
Insurance		yen	type:
Travel expense		yen	
Petty expense		yen	
Other		yen	
Other		yen	
Other		yen	
Total		yen	

Travel Information

Route:

Travel Expenses

Ticket type _____

Outward _____

Return _____

Total _____

Travel company you used, guidebooks, or any other resources you referred during the preparation:

Accommodation

1)Housing type (e.g.:apartment, dormitory of host institution etc.)

2)Room type

Single OR Living with others(Number of room mate _____)

3)How did you find the residence?:

4)Comments : (Describe your life at the housing and advise to students who are willing to study abroad.)

Local Information

1)Have you gone to any hospitals during studying abroad? Are there any clinics or medical offices at the host institution?

No,

Yes:

2)Who did you consult with if you have any problems? Is there any specific office where you could consult at the host institution?

3)How did you get information on risk management ? Have you encountered any dangerous situations or crimes during your stay? If yes, how did you deal with the problem?

4)Are there any troubles or comments regarding the use of PC, cell phones, and the Internet?

(e.g.:The Internet environment at the dormitory was unstable and it stopped once a week. I could connect the Internet at café in the town, so I visit it during the time.)

5)How did you bring your money?

(e.g.:I opened a bank account at a local bank and asked my parents to make wire transfers. The bank account couldn't be opened before completing alien registration there. I also used my credit card for shopping.)

6)Are there any items you should have brought from Japan?

7)[Fee-paying program]The way and timing you have paid the tuition and fee.(e.g.:Paid by my own credit card before departure / Opened a bank account and made the payment through it after arrival/ Received the information from the host institution before departure/ Informed how to make the payment at the orientation after arrival/ and etc.)

After Graduation

1) Career plan after graduation
Start working Continue studying Not decided Other:
2) Any documents, book or organizations referred when you decided your career plan.
3) If you will start working, please mention the company and the reason why you decided to join it. (Not mandatory, writing the name of company only is also accepted.) ※For 1st~3rd year students who are going to start job hunting, please describe which industry you want to work for. (not mandatory)
4) Any advices or comments regarding your job hunting. ※For 1st~3rd year students who are going to start job hunting, please describe your motivation toward it or any changes occurred on your career plan through studying abroad.
5) If you will continue studying, please write the institution you are going to.
6) Any advices for students who wish to continue studying after studying abroad (about preparation for examination, and etc.)
7) If you selected "Other" above, please describe your plan and provide some advices to the students who wish to study abroad in the future.

The information above might be published without your name on the website or brochures of the International Student Center and the Recruit and Career Center for the reference. Please be aware that you might be asked to revise your report to make it published for PR use.

※Note: This report is consisted of 3 parts: "Report of your study," "Time chart," and "Report of Study Abroad." and make sure to fill out all the parts.

Report of your study(Describe the details of all the classes you took)

1) Number of credits you' ve earned	Number of Credits you converted (at Meiji University)
Credits	Credits Haven' t requested to convert any credits (Reason:)
2) Please describe each class you took during studying abroad including advice for students who wish to study abroad. If the space is not enough, make another document (A4 size) and attach it to this report.	
Name of the class:	
Faculty	
Duration	
Number of credits	
Number of credits converted to Meiji	Credit
Class style	(tutorial, lecture, etc.)
Class frequency/ hours	minutes * times per week
Professor	
Contents	

Test, Homework etc.	
Comments / Advice	

Name of the Class :	
Faculty	
Duration	
Number of credits	
Number of credits converted to Meiji	Credit
Class style	(tutorial, lecture, etc.)
Class frequency/ hours	minutes times per week
Professor	
Contents	
Test, Homework etc.	
Comments / Advice	

Name of the Class :	
Faculty	
Duration	
Number of credits	
Number of credits converted to Meiji	Credit
Class style	(tutorial, lecture, etc.)
Class frequency/ hours	minutes times per week
Professor	
Contents	
Test, Homework etc.	
Comments / Advice	

Name of the Class :	
Faculty	
Duration	
Number of credits	
Number of credits converted to Meiji	Credit
Class style	(tutorial, lecture, etc.)
Class frequency/ hours	minutes times per week
Professor	
Contents	
Test, Homework etc.	
Comments / Advice	

Name of the Class :	

Faculty	
Duration	
Number of credits	
Number of credits converted to Meiji	Credit
Class style	(tutorial, lecture, etc.)
Class frequency/ hours	minutes times per week
Professor	
Contents	
Test, Homework etc.	
Comments / Advice	

Name of the Class:	
Faculty	
Duration	
Number of credits	
Number of credits converted to Meiji	Credit
Class style	(tutorial, lecture, etc.)
Class frequency/ hours	minutes times per week
Professor	
Contents	
Test, Homework etc.	
Comments / Advice	

Name of the Class:	
Faculty	
Duration	
Number of credits	
Number of credits converted to Meiji	Credit
Class style	(tutorial, lecture, etc.)
Class frequency/ hours	minutes times per week
Professor	
Contents	
Test, Homework etc.	
Comments / Advice	

Name of the Class:	
Faculty	
Duration	
Number of credits	
Number of credits converted to Meiji	Credit
Class style	(tutorial, lecture, etc.)
Class frequency/ hours	minutes times per week

Professor	
Contents	
Test, Homework etc.	
Comments / Advice	

Name of the Class :	
Faculty	
Duration	
Number of credits	
Number of credits converted to Meiji	Credit
Class style	(tutorial, lecture, etc.)
Class frequency/ hours	minutes times per week
Professor	
Contents	
Test, Homework etc.	
Comments / Advice	

Name of the Class :	
Faculty	
Duration	
Number of credits	
Number of credits converted to Meiji	Credit
Class style	(tutorial, lecture, etc.)
Class frequency/ hours	minutes times per week
Professor	
Contents	
Test, Homework etc.	
Comments / Advice	

Name of the Class :	
Faculty	
Duration	
Number of credits	
Number of credits converted to Meiji	Credit
Class style	(tutorial, lecture, etc.)
Class frequency/ hours	minutes times per week
Professor	
Contents	
Test, Homework etc.	
Comments / Advice	

Name of the Class :	
---------------------	--

.....	
Faculty	
Duration	
Number of credits	
Number of credits converted to Meiji	Credit
Class style	(tutorial, lecture, etc.)
Class frequency/ hours	minutes times per week
Professor	
Contents	
Test, Homework etc.	
Comments / Advice	

Go to the next part ↓ :

Time Chart for the Study Abroad

Please describe things you have done from preparation before your departure (including studying), during your staying abroad, and after returning to Meiji University.

(e.g.: Studied for language proficiency test, inner screening, application, middle exam (during study abroad program), final exam, other events, and etc.)

January ~ March, 2016	
April ~ July	
August ~ September	
October ~ December	
January ~ March, 2017	
April ~ July	
August ~ September	
October ~ December	
January ~ March 2018	
April ~ July	
August ~ September	
October ~ December	

Report of Study Abroad

Please fill in each column in details. (150 words or more)

This report might be published on the booklet “Guide to Study Abroad,” the website of Meiji University, and so on (your name will not be listed on the page.) Please cooperate with revising the report before publishing these materials when you are asked. (Your school, host institution, academic year you’ ve studied and year of graduating will be listed.)

Reasons why you decided to study abroad	
Preparation for study abroad (including things you should have done.)	
Reason why you chose the institution	
Description of the host institution and students there	
Description of the dormitory you stayed	
Friendship and community you belong to	
Difficulties and how you overcome those things	
About your study and research (are of study, levels of the classes, classmates, how to manage your study plans, and etc.)	

About homework and exams	
About extra activities	
Messages and advice for students wishing to study abroad	

Please offer two or three photos during study abroad (those with your friends would be acceptable). Please be aware that these pictures might be used on “Guide to Study Abroad” , the website of Meiji University and other media for PR use.

Weekly schedule during the study abroad (Reference)

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday	Sunday
Morning							
Afternoon							
Evening							
Night							

※ Please inform the details of your activities including not only the classes but also extra activities, exchange events, self-study and other free time.

※ Please confirm all the parts and columns are completed before submission.